

会報

No. 52

平成12(2000)年8月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市下京区西七条八幡町31
京都府立図書館仮施設内
TEL (075)321-0200

学校図書館と公共図書館との新しい関係

高月町立図書館長 明定義人^{みょうじょうよしと}

最近では、学校図書館と公共図書館との間で、従来とは異なる新しい関係が求められてくるようになってきている。

学校の図書館では処理できないことが生じた場合、先生は、司書教諭や学校の司書には相談せず、地元の公共図書館にやってくる場合が多い。相談の内容も様々で、「これに関する本はありますか。」というのによくあるが、「ニュージールランドから輸入している果物の統計を知りたい。」と言ってこれら、回答すると今度は「ではアフガニスタンはどうでしょう。」と聞かれたりする。こうなってくると図書館側の対応もなかなか大変である。



今こうやって聞いてくる先生は一部の熱心な方だが、そのうち学校全体で授業展開するようになると、公共図書館が学校図書館のバックアップを当然行うようになり、その時に、学校と図書館との関係が新しいものになっていくものと思われる。

これまで、学校と図書館の連携といえ、学校にブックトークに行くくらいであったが、最近では学校から統計類や辞書等の情報面でのバックアップもあれば、こういう絵はありませんか、などという依頼も出てくるように多様化してきている。

先日先生が「一冊の絵本をもとにいろいろな本を紹介するという授業をしてみたい。」と図書館に相談に来られた。話をよく聞いてみると、ブックトークのようなものを想定されているようで、一冊の本についてみんなが読み、その中に例えば「おひさま」が出てきたらそれをきっかけに「おひさま」が出てくる本はまだまだ他にこんないろいろな本がありますよという授業展開をしたい、ついでに図書館の職員が学校に来て見本を示してほしい、ということであった。

この時は、結局学校図書館の担当をしている職員がその学校に行き、授業でとりあげる絵本を中心に、関連する本の紹介を行うことで先生の依頼にこたえることができた。

こうした学校からの要求にこたえていくことは、図書館としては非常に手間と労力がかかることである。しかし、こうした要求に対しては、いたずらにこれを拒否するのではなく、当面は学校と付き合っていく中で、双方の関係をより良い方向に発展させていくべきであろう。

先生たちも図書館に任せっきりにするのでなく、もう少し自分たちで考えてもらい、例えば先程の絵本のケースでいえば、先生にも絵本を探す努力をしてもらいたい、と考えている。

ともあれ、これからは学校からは様々な形で公共図書館にバックアップを求めてくるだろうし、それにどう対応していくかは今後の大きな課題である。

平成十二年度定期総会の後に行われた講演「学校図書館と公共図書館」のうち「学校図書館と公共図書館の新しい関係が求められている」の要旨を広報委員会の責任においてまとめさせていただきます。

平成十二年度 定期総会開かれる

平成十二年度定期総会が五月二十六日(金)に、京都市青少年活動センターで開催されました。

開会に際して、村上会長のあいさつ、京都府教育庁指導部長(社会教育課長代読)の来賓あいさつについて、平成十二・十三年度理事の紹介が行われました。

総会議事

総会は、加茂町立図書館長井上敬子氏を議長に選出。加盟館三十五館の出席、十八館の委任状提出により、総会が成立していることを確認して、議事が進められました。

はじめに、平成十一年度会務報告・決算報告、平成十二年度事業計画(案)・予算(案)が、報告・提案どおり承認されました。

つづいて、「資料の相互貸借実施要領」の一部改訂について提案(現在の相互貸借伝票の貸出伺を廃止し、四枚から三枚にする。)がされ、新府立図書館開館までの暫定的処置として承認されました。

次に監事の選出・顧問の委嘱にうつり、提案どおり承認されました。

会務報告

会務報告では、はじめに府内の図書館をめぐる状況として、十一年度に京都市左京図書館(五月)、久御山町立図書館(八月)が新築移転により開館したこと。十二年度には精華町立図書館、十二年度以降には京都市下京図書館の新築移転が予定され、また新たに、岩滝町では十三年度開館をめざして図書館建設が準備中であることなどの動きが報告されました。京都府立図書館では、十二年秋には新館への移転が予定され、それに伴って協力貸出が十二年二月から中止されました。また、サービス活動としては、府



総会であいさつする村上会長

民一人当たりの蔵書冊数や貸出冊数が引き続き前進しているが、一方で条件整備の面で課題を抱えており、全体としては、格差が拡大する傾向にあると報告されました。市町村間等の相互貸借も増加の一途で、府立図書館の貸出中止により、WANTEDの実施方法の変更がなされました。

さらに、コンピュータ導入の動きも活発で、京都市の「京(みやこ)ライブラリー」ネットに向島図書館が加わって十二館になり、峰山町でも新たに導入されました。また、宮津市、八木町でも導入の準備が始まりました。

京図連協の組織は、十一年度京都市久世ふれあいセンター、久美浜町、三和町、日吉町が新たに加盟し、未加盟の六町村についても十二年度当初から加盟と報告されました。

事業計画

平成十二年度の事業計画では、総会・理事会をはじめ、研修・研究、相互協力、広報等の各委員会で事業の具体化が図られるとともに、ネットワーク特別委員会も引き続き設置され、京都府図書館総合目録ネットワーク運営協議会準備会が四月に発足したことにより、さらに実務的に作業が進められることとなりました。

＊十二年度被表彰者＊

杉原 裕子 (京都市伏見中央図書館)
久保田満子 (京都市洛西図書館)
前田あずさ (京都市久我のもり図書館)
岡本三容子 (向日市立図書館)
芦田 穂子 (向日市立図書館)
笹田 保治 (宇治市中央図書館)
丹田 長史 (木津町中央図書館)
池田 文美 (木津町中央図書館)
山本 美幸 (亀岡市立図書館)
永本洋一郎 (福知山市立図書館)
矢部 弘毅 (京都ライトハウス点字図書館)
伊東 泰子 (京都府立総合資料館)
田中 元美 (京都府立総合資料館)
小林 育子 (京都府立総合資料館)
池田 澄美 (京都府立総合資料館)
松田万智子 (京都府立総合資料館)
吉田 江美 (京都府立図書館)
清田 泰代 (京都府立図書館)



ご挨拶

京図連協会長 村上 康夫

十二・十三年度の役員を代表いたしましてひとことご挨拶申し上げます。

平素、皆様方には京図連協に對しまして、暖かいご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このたび私も役員に選出されましたが、図書館をとりまく諸状況は厳しく、また京図連協の課題も多い中、皆様方のお力を得て役目を果たして参りたく存じますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年は、二十世紀最後の年でありますが、図書館にとりましては図書館法制定五十周年という節目の年で、「子ども読書年」という記念すべき年でもあります。また京図連協にとりましては、当協議会に府下全市町村図書館等が加盟された年で、今後ますます相互協力の精神が強く求められ図書館運営の活発化が予想されます。

ご承知のように今日、高度な情報通信機器の進展により、図書館が提供できる情報やサービスは、利用者のニーズと相俟って高度化・多様化しつつあります。

従来の図書館運営の感覚ではおぼつかない点も出てきており、時代に即応した幅広い知識と柔軟な発想、

さらには迅速な行動力が要求されています。

そのような中で、京図連協は、府内図書館等の動きを把握し、その実態に沿って「図書館事業等の振興及び相互間の協力」がはかれるよう努めていかなければなりません。

そのため、役員はもとより各種委員が、今何が求められているのか、何が出来たのか、という問題意識をもち論議を深めていくことが大切だと考えます。

一方、府立図書館に對しましては、市町村図書館等振興のため一層指導的な役割を果たしていただくよう望んでいます。ことに、新しい府立図書館の総合目録ネットワークシステムには、「参加してよかった」と言われるよう大きな期待をいたしております。

ところで、思いますのに京都は、わが国最初の公共図書館「集書院」が開設されたところであり、他都市にない古い図書館としての歴史を有しております。私たちは先人の功績を改めて見直すとともに、これをバネとして図書館の充実発展を期していきたいものであります。

京図連協は微力ではありますが、二十一世紀に向けて明るい展望が開けるよう諸課題に取り組んで参りたいと存じます。ご支援をお願い申し上げます。

・第一回理事会より

今年度最初の理事会が四月二十日（木）に府立図書館で開催されました。新理事の自己紹介の後、笠置町、野田川町、弥栄町の公民館図書室から加盟申込みが出されたことにより、未加盟館はなくなり計六十五館となったことが報告されました。

京都府図書館総合目録ネットワーク運営協議会準備委員の推薦・各専門委員会委員についても報告がありました。

協議事項は、まず、会長を選出後、他の役員体制を決定しました。

つづいて、平成十一年度会務報告・収支決算報告、平成十二年度事業計画（案）、予算（案）、「資料の相互貸借実施要領の一部改訂」（案）、監事の選出及び顧問の委嘱について、それぞれ協議の結果、定期総会に諮られることとなりました。平成十二年度職員表彰は、推薦された十八名全員の表彰が確認されました。

・新役員体制

〈理事〉

会 長 村上 康夫

副会長 藤村 英子

（向日市立図書館）

（峰山町立図書館）

理事 水島 弘之

（福知山市立図書館）

理事 今泉八寿代

（京都府立図書館）

理事 大橋 紀雄

（京都市伏見中央図書館）

理事 井上 嘉久

（京都市下京図書館）

理事 山本 徳善

（宇治市中央図書館）

理事 林 芳男

（井手町図書館）

理事 澤田 種治

（精華町立図書館）

理事 山下 昇

（亀岡市立図書館）

理事 北村多美子

（美山町立図書館）

理事 矢野 和子

（宮津市立図書館）

〈監事〉

駒井 孝次（京都市西京図書館）

河原 忠（京田辺市立中央図書館）

〈顧問〉

小山 雄一（京都府立図書館）

大槻 明司（京都府立総合資料館）

阿久澤宏一郎

（京都市中央図書館）

専門委員会委員の紹介

〔総合目録ネットワーク〕

検討特別委員会

委員長

林 芳男（井手町図書館）

委員

村上 康夫（向日市立図書館）
井上 嘉久（京都市下京図書館）
山本 徳善（宇治市中央図書館）
水島 弘之（福知山市立図書館）
澤田 種治（精華町立図書館）
山下 昇（亀岡市立図書館）

〔研修研究委員会〕

委員長

水島 弘之（福知山市立図書館）

委員

山田 真澄（長岡京市立図書館）
笹田 保治（宇治市中央図書館）
梶原 哲郎（久御山町立図書館）
長弓佳代子（八幡市立八幡市民図書館）
林 成美（井手町図書館）
森井 里美（加茂町立図書館）
新田 博子（山城町立図書館）
山本 美幸（亀岡市立図書館）
竹之内英子（舞鶴市立西図書館）
吉田麻由美（宮津市立図書館）
大槻 成人（京都市山科図書館）
田尻 彰（京都ライトハウス点字図書館）
北岡 伸也（京都府立総合資料館）
吉田 江美（京都府立図書館）

〔相互協力委員会〕

委員長

今泉八寿代（京都府立図書館）

委員

上田まゆみ（京都市中央図書館）
芦田 穂子（向日市立図書館）
田中 芳子（城陽市立図書館）
辻 玲子（京田辺市立中央図書館）
城 洋子（精華町立図書館）
山田 真美（園部町立園部図書館）
生駒 彩子（綾部市図書館）
和田 朋子（舞鶴市立東図書館）
藤原恵美子（峰山町立図書館）
小林 凱之（京都府立図書館）
小林 育子（京都府立総合資料館）

〔広報委員会〕

委員長

大橋 紀雄（京都市伏見中央図書館）

委員

奥山 一紀（宇治田原町立図書館）
山本 勝恵（木津町中央図書館）
谷 義明（福知山市立図書館）
山内 卓（京都市文芸・文化センター図書館）
西村 文子（京都府立総合資料館）
森安 啓子（京都府立図書館）

〔京図連協事務局〕

今泉八寿代 山上 泰子

小林 凱之 岸 信廣

（京都府立図書館）

LIBRARY NEWS

— 京都府立図書館 —

本年十月中の竣工に向けて府立図書館の新館建設は順調に工事が進んでいます。現在、建築工事に含まれる情報コンセンタや設備やサイン類の確定が急務となっています。システム開発の方は府立両施設のデータ投入・検証段階でのハプニングもあり少し遅れを生じています。

京都府総合目録ネットワークシステム構築に關しては、六月二十九日と三十日の市町村説明会にはシステムデモを実施し、一層のご理解をいただいたところでした。これに先立ち実施いたしました調査には全市町村から回答をいただき厚く御礼申し上げます。結果、十三年度中には、このネットワークに少なくとも二十六館（うち十七館はデータ提供）が参加に至ることが分かります。今後さらに参加館が増えるように理解を求めていきたいと思っています。

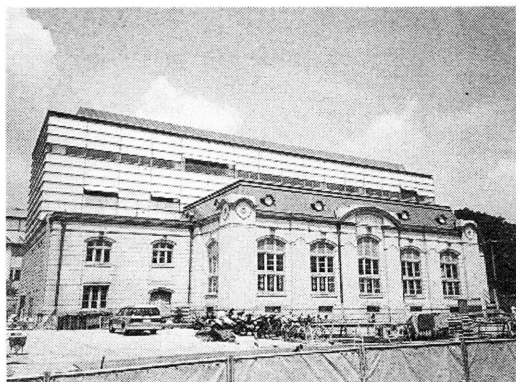
来る七月十二日には

京都府総合目録ネットワーク運営協議会準備会の第二回を開催し、協議会規約案やシステム運用における諸課題について協議する予定です。

移転準備作業も、おかげをもちましてスケジュールをこなしています。

ところで、市町村間の相互貸借についてFAX版WANTEDを継続していますが、これに伴う府立と市町村の両サイドにおける非効率性を思い、京都府総合目録ネットワークシステムの必然性を思う昨今です。

（七月五日 記）



新館長紹介

京都市醍醐中央図書館

半田 諦喬

京都市南図書館

今坂 尚

京都市久世ふれあいセンター図書館
多那瀬美代子

京都市久我のもり図書館

早野 潔

綾部市図書館

山田 松雄

舞鶴市立西図書館

山口 潔

大江町立図書館 杉之下與志彦

丹後町中央公民館図書室

清水 正夫

京都ライトハウス点字図書館

田尻 彰

京都府立総合資料館

大槻 明司

《平成12年度研究集会》

○第86回全国図書館大会

於：那覇市

10月25日(水)～27日(金)

○全国公共図書館研究集会

・整理部門 於：金沢市

11月1日(水)～2日(木)

・奉仕部門 於：山形市

10月5日(木)～6日(金)

・参考事務分科会 於：宮崎市

10月12日(木)～13日(金)

・児童図書館分科会 於：長野市

11月8日(水)～9日(木)

○近畿公共図書館協議会研究集会

於：大阪市

12月14日(木)

○近畿地区公共図書館研修

於：京都市

13年2月5日(月)～9日(金)

京都図書館大会実行委員会

第九回京都図書館大会の第一回実行委員会が六月十四日(水)に京都府立図書館で開催されました。

実行委員会は日図協議議員、大学図書館・学校図書館関係者、京図連協等から構成され、実行委員長に村上康夫氏(京図連協会長)を選出しました。

開催日時は従来の十二月から、京都府立図書館の新館への移転に伴い左記のように決まりました。

日時 平成十二年九月十三日(水)
会場 同志社大学(今出川校舎)
テーマ 「21世紀の図書館像を探る」

☆新☆加☆盟☆館☆紹☆介☆

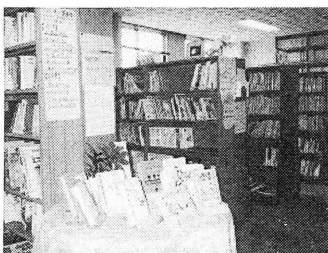
野田川町中央公民館図書室

今年度から京図連協に加盟させて頂きました、野田川町中央公民館図書室です。

蔵書としては約一万冊ありますが、古い資料が多いことや部屋が狭いことから、府立図書館からお借りしている六千冊と合わせて、約九千冊を開架し町民のみなさんに利用して頂いています。

町民のみなさんが、利用しやすい図書室づくりを目指して、平成十一年六月から土曜日の夜間開室をおこなったり、開室時間には中央公民館玄関に大きな「図書室開室中」という看板を出したり、話題の本を図書室入口にディスプレイしたりといういろいろな工夫をしています。

京図連協加盟館の皆さんには、お世話になることばかりだと思いが、どうかよろしく願います。



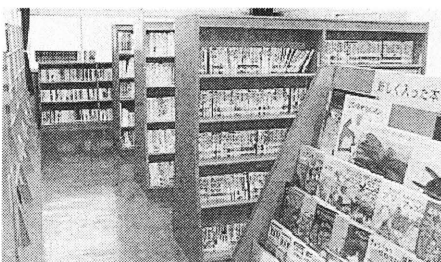
笠置町中央公民館図書室

今年度から京図連協に加盟いたしました笠置町中央公民館図書室です。

笠置町は、京都府の南端に位置し、東は南山城村、西は加茂町、南は奈良市、北は山岳をもって和束町に接している人口二千百人余りの小さい町です。

当図書室は中央公民館の二階にあり、開室日は月・水・金の週三日で午前九時から午後五時までです。

平成四年七月より開室し、現在蔵書冊数は、府立図書館からお借りしている五千冊と合わせ八千冊余りですが、図書室の本棚も手狭になってきました。他町村の図書室等に比べれば、利用者へのサービス等はまだまだ行き届きませんが、図書の充実を図るとともに小さい図書室なりに工夫しながら住民の皆さんが気軽に立ちよっていただけるような図書室づくりに努めていきたいと思っています。



今後ともよろしく願います。

◎ ネットワーク特別委員会

平成十年七月の理事会で承認されたネットワーク特別委員会も、二年が過ぎました。新府立図書館もいよいよ来春オープンします。

委員会のこれまでを振り返ってみますと、「総合目録ネットワークとはどんなものか」の説明会(研修会)に始まって、市・町の電算機調査、ガイドラインの確定による説明会、参加のための市町村予算要求状況調査、システム改良費用の折衝、総合目録ネットワーク運営協議会設置の促進等を行ってきました。

四月には参加予定図書館による運営協議会も開催され、今年の秋からのテスト稼働に向けた準備がされています。

今後はネットワーク特別委員会と府立図書館による運営協議会が協力して、市町村が抱えている諸々の問題を解決するようにしていかなければなりません。

また、コンピュータを設置していない図書館・読書施設のネットワーク参加も促進していかないと当初の目的が達成できない事になります。FAX版WANTEDの取り扱いと、資料の相互貸借実施とにかかわって、今後十分な検討を重ねる必要があると思います。

◎ 研修研究委員会

第一回の研修研究委員会を六月十六日に京都府立図書館で開きました。今年度の研修計画は、「子ども読書年」にちなんだ研修を行うことで、宿泊研修会を一回、実務研修会を二回開催することにしました。

現在、研修会について検討中ですが決定している点を報告いたします。未定の研修内容については、次回の会報で報告します。

○ 宿泊研修(北部会場)

場所 舞鶴西総合会館

(宿泊) 舞鶴簡易保険センター
第一日 九月二十一日(木)
午後一時三十分

「私の出会ってきた図書館と子供たち」

講師 仲野恵子

(みかんの木文庫主宰)

施設見学 舞鶴市立西図書館

第二日 九月二十二日(金)

実技講習会 講師 仲野恵子

絵本から広がる

手作りおもちゃ

○ 実務研修会(中部会場)

日時 十一月二日(木)

午後一時三十分

場所 ライトハウス点字図書館

テーマ 障害者サービスについて

○ 実務研修会(南部会場)

日時 平成十三年二月頃

場所 精華町立図書館

テーマ 検討中

◎ 相互協力委員会

三月十七日(金)十一年度第二回の相互協力委員会を開催しました。

府立図書館の貸出休止に伴うWANTEDの実施方法が二月十日より変更されましたが、それについて各加盟施設の意見をお聞きし、今後の対応について話し合いました。

対象資料の年限について、対象以外の資料の申し込みがある。急ぎ・不明等で年限以外でもWANTEDに出したい等の意見を踏まえ、「原則として一九九六年以前の出版物及び絶版または品切れ等により購入できない図書資料」とさせていただきました。またWANTEDの件数が増加する中、グループ分けについても多くの意見が寄せられました。

現在の二グループ分けのまま、水曜日(六月十四日)からは、火曜日の深夜)に送付することになりました。

また、五月二十六日の京図連協の総会において「相互貸借実施要領」の一部改訂が承認されました。具体的には相互貸借伝票の貸出伺いを廃止し三枚となります。

十二年度第一回の相互協力委員会は、府立図書館の新館への移転時期を考えて九月頃開催を考えています。

◎ 広報委員会

平成十二年度第一回広報委員会を五月十九日に京都市伏見中央図書館で開催し、今年度の計画及び会報第五十二号の編集方針を検討し、次のように決定しました。

・ 会報の発行は年三回とする。

第五十二号

発行予定日 八月十五日

第五十三号

発行予定日 一月十五日

第五十四号

発行予定日 三月十五日

・ 会報紙面の主構成と記事取材編集の分担

・ 第五十二号の編集方針

・ 次回委員会の開催日

編集子

新しい広報委員による最初の会報をお届けします。

巻頭には、平成十二年度定期総会後の高月町立図書館館長 明定義人氏の「学校図書館と公共図書館」講演要旨を載せ、総会に参加できない多くの会員の皆様にお伝えしました。

会報をより良いものとするため努力して参りますので、会員の皆様のご意見、原稿をお寄せ下さい。

